

プログラム（1日目）

● プログラムは2日間で実施します。

- ◆ 1日目は、ケーススタディを用いて「人のマネジメント」「組織のマネジメント」を体系的に学習します。

1日目			
プログラム	内容	実施形態／ツール	時間
オリエンテーション	<input type="checkbox"/> 参加者同士が自然にグループワークを行えるように、お互いの緊張を解くためのウォーミングアップを行う。	▶ 研修の目標・進め方の説明 ▶ 自己紹介	20分
人のマネジメント	<input type="checkbox"/> 職場で生じる問題を盛り込んだケースを用いて、対応方法を検討する。 <職務遂行場面で生じる問題>（各ケース：40分） <ul style="list-style-type: none"> 部門内で明確なビジョンが示されず個人がバラバラに行動している（リーダーシップ） 人間関係の悪化や営業数値のプレッシャーによって、ある部下のモチベーションが落ちている（モチベーション） 部下が自己啓発に積極的に取り組まない（人材育成） <input type="checkbox"/> ケース演習ごとに解説を行う。	▶ 個人ワーク ▶ グループディスカッション ▶ 全体発表 ▶ フィードバック	120分
	<input type="checkbox"/> 「人のマネジメント」に関する諸理論を体系的に解説する。 <学習する理論> <ul style="list-style-type: none"> リーダーシップ モチベーション 人材育成 	▶ 講義	40分

昼食休憩（60分）

組織のマネジメント	<input type="checkbox"/> 管理職が直面する組織課題を盛り込んだケースを用いて、対応方法を検討する。 <職務遂行場面で生じる問題>（各ケース：50分） <ul style="list-style-type: none"> 上位からプレッシャーが与えられた目標を部下に押し当てるが、目標達成に向けた取り組みが進まない（組織の仕組み） セクシュアリズムが発生している状況において、他部門からの協力取り付が必要（組織の運用） 前任管理職の成果志向が強く、コンプライアンスよりも成果を求める傾向が強い部下の意識を変える（組織風土の醸成） <input type="checkbox"/> ケース演習ごとに解説を行う。	▶ 個人ワーク ▶ グループディスカッション ▶ 全体発表 ▶ フィードバック	150分
	<input type="checkbox"/> 「組織マネジメント」を行うための要諦について、多様な考えを解説する。 <「組織マネジメント」を行うための要諦> <ul style="list-style-type: none"> 組織の仕組み（配置と役割分担・指示命令系統など） 組織の運用（他部門や外部との関係構築など） 組織風土の醸成（組織の価値観の形成、職場の行動規範の形成、社員意識の方向付けなど） 	▶ 講義	50分

プログラム（2日目）

- ◆ 2日目は、「マネジメント全般」に関して女性管理職が直面する場面を取り上げ、ロールプレイング等を通じて解決方法を習得します。
- ◆ また、アセスメントを実施します。

2日目			
プログラム	内容	実施形態／ツール	時間
マネジメントの実践	<input type="checkbox"/> 管理職が職場で直面する場面で取るべき行動を実演し、行動の改善点を明確にする。 <職場で直面する場面>（各ロールプレイング：70分） <ul style="list-style-type: none"> 「部下の行動改善を促すための指導方法」 「他部門に対する協力の依頼」 <input type="checkbox"/> 同一グループの他のメンバーからフィードバックを行う。	▶ 個人ワーク ▶ 相互フィードバック ▶ ロールプレイング	140分
	<input type="checkbox"/> 講師から、実施したロールプレイングの全体フィードバックを行う。 <input type="checkbox"/> 全体のプログラムを通じて、疑問点を受講生から受け付け回答する。	▶ 講義形式 ▶ 質疑応答	40分
昼食休憩（60分）			
管理職としてのマネジメント力の診断	<input type="checkbox"/> アセスメントを受検する。（※） <アセスメントの構成> <ol style="list-style-type: none"> 問題解決演習（105分） 新規チャネルの開発を行うプロジェクトチームをテーマにして、プロジェクトを取り巻く問題点の構造化や、メンバーに対してのリーダーシップの発揮方法について記述する。 行動記述演習（70分） 日常の業務遂行場面で限られた時間内に意思決定を迫られる場面において、自分と取るべき行動及びその行動の背景となった考え方を記述する。 自己診断（25分） 1つのコンピテンシーについて、複数の質問文を用意し、診断対象のコンピテンシーに関する典型的な行動例について自己診断を実施。 	▶ 筆記テスト形式	200分
全体総括	<input type="checkbox"/> 全体のプログラムを通じて、実施内容・学習内容を振り返る。	▶ 講義形式	10分

（※）アセスメント結果のフィードバックレポートは、実施後約2週間後の送付となります。（受検者が20人の場合）